

日本計画行政学会 東日本大震災復旧復興支援特別委員会  
東日本大震災の復旧復興に向けた研究活動チーム

1. 研究グループ名

(財) 国土技術研究センター 都市・住宅・地域政策グループ

2. グループ代表者

伊藤 伸一 ((財) 国土技術研究センター 都市・住宅・地域政策グループ)

3. 研究課題名

東日本大震災からの復興計画に関する研究

4. 研究概要

(1) 研究の目的：

東日本大震災からの復興計画は、現在、各市町村で策定されているが、これまで想定してこなかった規模の災害であり、その復興計画の内容・計画策定の手順等についても、手探りの状況と推察される。

被災した地域の復興計画策定の手順等を、記録し検証することは、限られた人材で、復旧・復興を担っている地元自治体の職員では困難であり、当財団を中心とした研究グループで記録・検証していくことを提案する。

こうした検証結果は、今後、東南海地震等が発生した際の復興計画策定に大きな指針を与えるものと考えられる。

(2) 研究の特徴

被災都市の中で、モデル都市として、釜石市を取り上げ、その復興計画策定までの検討経緯を中心に整理・検証する。

岩手県においては、震災後、既に3月の段階で、過去の被災都市の都市計画マスタープラン等の業務に関わったコンサルタントを派遣し、現況把握から復興計画策定までの支援を実施している。今回の研究メンバーの(株)建設技術研究所は、被災直後から釜石市に入り、復興計画策定を支援している。また、当財団は、技術情報の提供という形で、これまで(株)建設技術研究所を支援してきた。こうしたこれまでの取組と今後の復興計画策定(釜石市では9月11日(震災半年後)までの復興基本計画の公表を目途として作業が進められている)の内容・手順をとりまとめ、実施内容を検証する。

(3) 研究内容

- ①釜石市の被災状況の整理
- ②国、岩手県における復興パターンの整理
- ③釜石市における復興計画策定の流れ
- ④具体的な事業手法の整理
- ⑤住民の計画策定への参画、住民への公表方法等の整理・検証
- ⑥報告書作成

5. 参加メンバー

氏名（所属）

松井敏夫、佐藤哲也、野坂和弘、朝日向猛、鈴木圭一、佐々木正、沼尻恵子（以上（財）国土技術研究センター）、松本健一（（株）建設技術研究所）